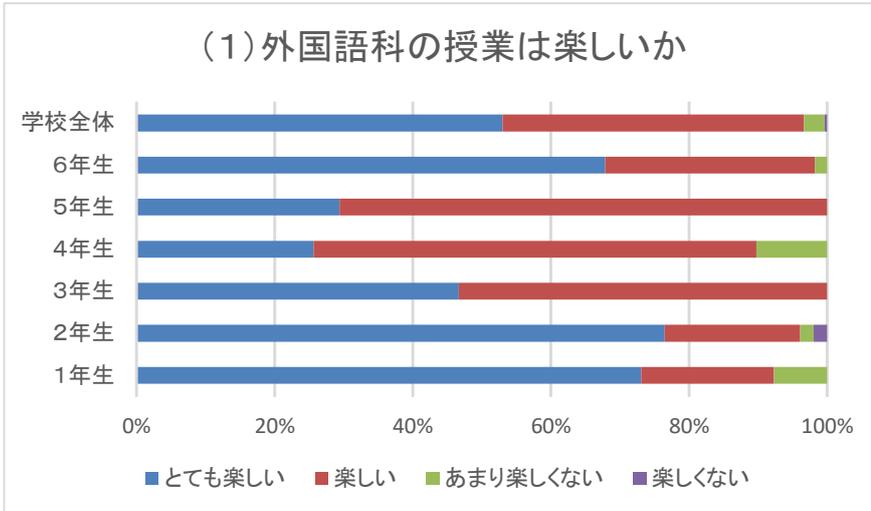


外国語科に関する調査結果（R2年度）

天草市立牛深小学校

【児童へのアンケート結果より】

(1) 外国語科の授業は楽しいですか。



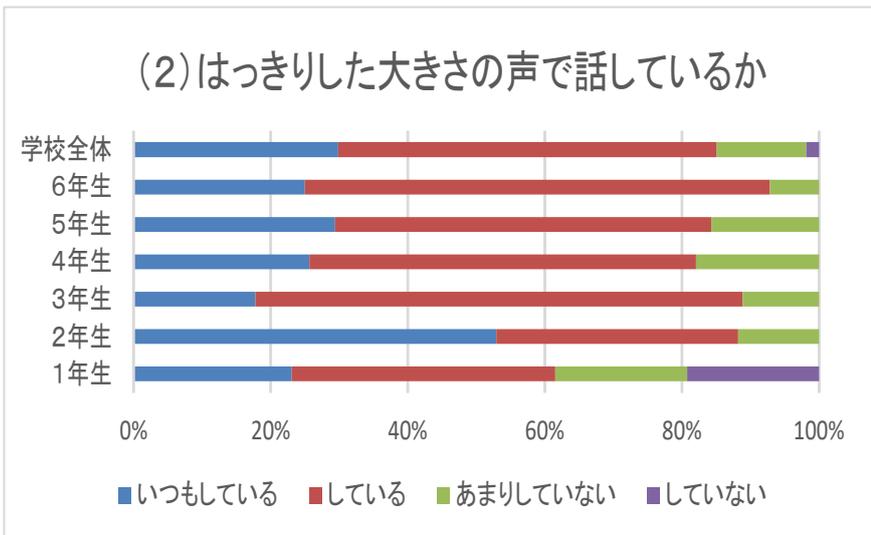
【考察】

昨年度より外国語科の授業が楽しいと感じている児童が全体的に増えている。

(93%→97%)

全体的に、「とても楽しい」と答えている児童が増えていることと、高学年の「楽しくない」という児童が減っていることから、授業の質の向上が意欲・関心を高めたとと言える。

(2) 相手に伝わりやすいようにはっきりした大きさの声で話すことを心がけていますか。

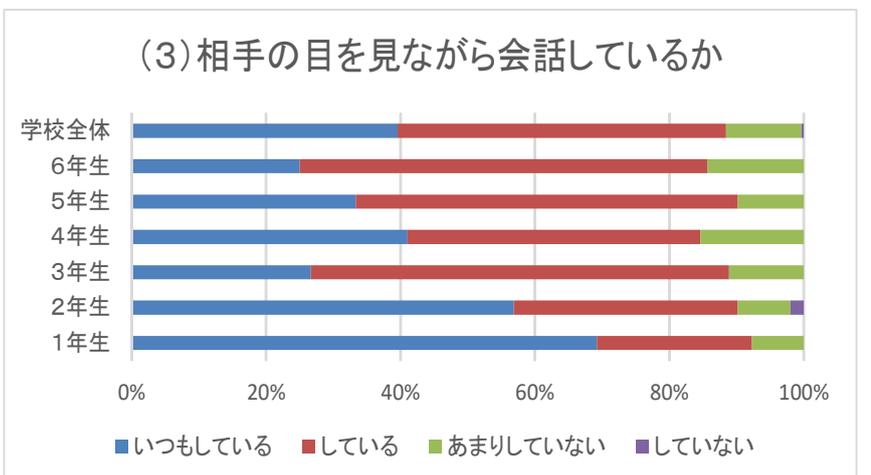


【考察】

学校全体としては、「意識している」児童が80%を超えている。

1年生は、外国語科の授業が初めてなので、慣れていないことと恥ずかしさが表れていて、「クリアボイス」に対する意識がやや低かったようである。だが、学年が上がるにつれて意識も高まってきているので、来年度に期待したい。

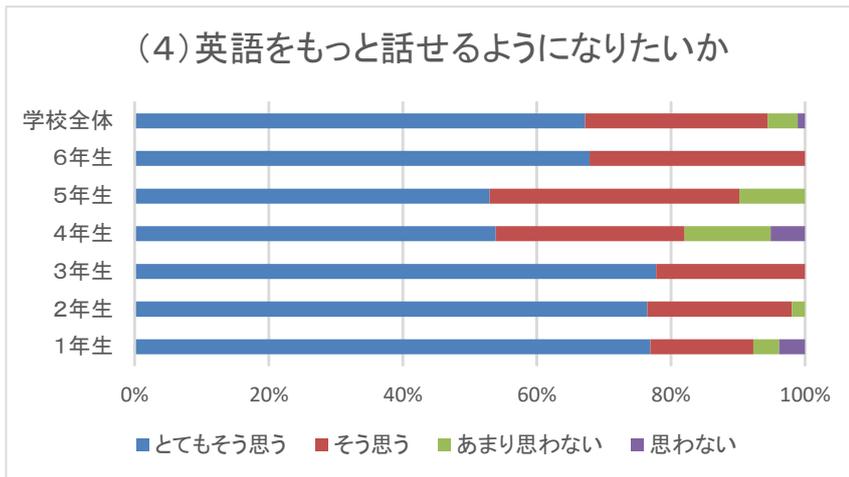
(3) 相手の目を見ながら会話することを心がけていますか。



【考察】

学校全体としては88%と、かなり意識をして取り組んでいる。これは、外国語科に関わらず、他の教科の授業でも発表するときに常に意識させている観点なので、どの学年においても意識は高いと思われる。

(4) もっと英語が話せるようになりたいですか。

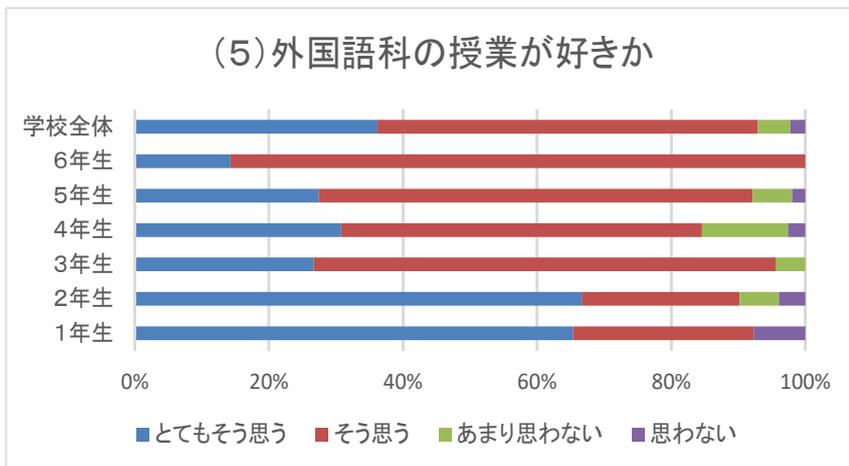


【考察】

昨年度の5年生は、「とてもそう思う」と答えた児童が50%だったのが、6年生では、68%に増えている。さらに、「思わない」と答えた児童は1人もいなかった。1年間の学習の成果の表れで、自信が持てたことがこの結果につながっている。

全体的に見ても、「英語が話せるようになりたい」児童が、94%いる。

(5) 外国語科の授業は好きですか。



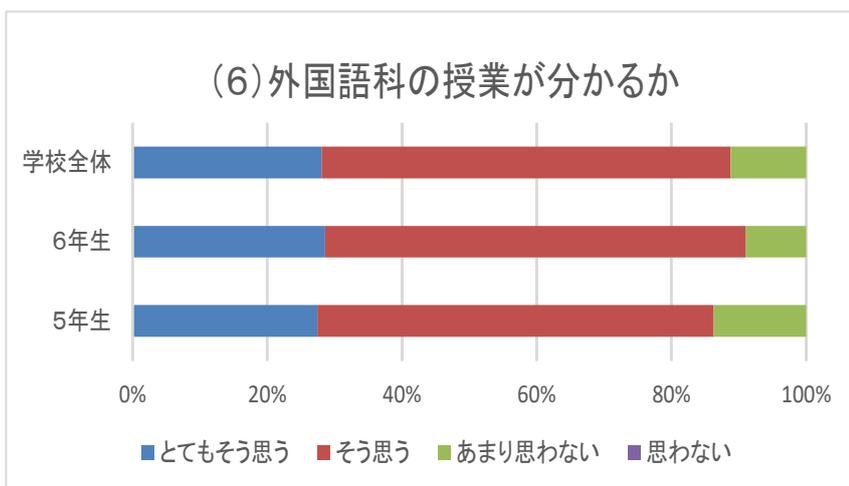
【考察】

「とてもそう思う」児童は、学年が上がるにつれて少なくなる傾向はあるが、全体的に「思わない」という児童は昨年と比べてかなり少なくなっている。

(18%→7%)

内容の難しさを授業展開の工夫や教材教具の工夫で楽しく学習することができているからと思われる。

(6) 外国語科の授業は分かりますか。



【考察】

天草市全体の調査では6年生での落ち込みが見られたが、本校の6年生は「分かる」児童は91%と高かった。全体的に見ても88%と「分かる」と自覚している児童は多い方である。授業には意欲的に参加する児童も多く、今後も「楽しく・分かる」授業を目指したい。

【保護者・学校関係者等の感想】

- 本年度は新型コロナの関係で授業参観が少なく、外国語科の授業が見られず残念だった。
- 本市は、1,2年生から外国語の学習に慣れ親しむことができるので大変ありがたい。これまで取り組んできた学習の積み重ねが、成果として高学年や中学校で表れてきているように思う。